

西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～
2023 年度）に掲げる施策の進捗状況
（令和元年度～令和 2 年度）

西東京市教育委員会

目次

1	目的及び構成	1
2	西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）における主要取組 施策一覧	2
3	令和 2 年度 西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度） の進捗状況	4

1 目的及び構成

本書は、題名のとおり西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）に掲げる施策の進捗状況確認資料として、位置付けるものである。毎年度、教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について単年度での点検及び評価業務を行っている。それに対して、本書は、5 か年計画である教育計画の進捗状況を確認することを目的とする。

本書の構成として、「2 西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）における主要取組施策一覧」は、教育計画の実施年度である平成 31（2019）年度からの当該年度において主要施策として取り組んできた経過一覧を表として掲載するものである。

「3 令和 2 年度 西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）の進捗状況」は、各施策の進捗状況を掲載するものである。進捗状況の評価指標は、施策を構成する事務事業の完了度としており、詳細な評価指標は次のとおりである。

- A 施策に基づく事務事業が概ね完了している
- B 施策に基づく事務事業が一部完了している
- C 施策に基づく事務事業の進捗に課題がある

なお、ここでの事業の完了とは、実施事業や整備事業において、管理・運用段階への移行したものを完了とする。また、充実や検討などを旨とする事業においては、各事業計画等に基づく年度ごとの目標達成をもって完了とするものである。

2 西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）における主要取組施策一覧

基本方針	方向	施策（太字は、令和 2 年度の主要施策）	各年度の 主要施策及び進捗状況				
			元	2	3	4	5
1 子どもの 「生きる 力」の育成 に向けて	1 社会の 変化に応え る確かな学 力の育成	① きめ細かな学習指導による基礎・基本の習得と活用	A	A			
		② 学ぶ意欲の向上に向けた教育の充実・推進	A	A			
		③ 教育の情報化による学習指導の質の向上	A	A			
		④ 持続可能な開発のための教育（E S D）の推進	A	A			
	2 豊かな 心を育む教 育の実現	① 人権教育の推進	A	A			
		② いじめや暴力行為の防止に向けた教育の推進	A	A			
		③ 道徳教育の充実	A	A			
		④ 読書活動の推進	A	A			
	3 子どもの 健康づく りと体力づ くりの推進	① たくましく生きるための健康と体力づくりの推進	A	A			
		② 望ましい生活習慣や規律のある生活習慣の確立	A	A			
	4 一人ひ とりを大切 にする教育 の推進	① 校内体制の充実	A	A			
		② 個に応じた教育実践の内容の充実	A	A			
③ 個に応じた教育実践を支える教育委員会の役割の充実		B	A				
2 子どもの 「心の健 康」の育成 に向けて	1 相談・支 援の充実	① 教育相談センターにおける相談・支援の充実	A	A			
		② 子どもの育つ環境を支援するネットワークの充実	A	A			
	2 学校に おける教育 支援体制の 充実	① 児童・生徒の「心の健康」の育成	B	B			
		② 学校と教育委員会との連携による支援の充実	B	A			
		③ 不登校への対応	B	A			
	3 学校を 支える多様 な教育資源 の充実	① 個の教育的ニーズに応じた教育資源の充実	B	B			

基本方針	方向	施策（太字は、令和2年度の主要施策）	各年度の 主要施策及び進捗状況					
			元	2	3	4	5	
3 持続可能な社会の 創り手を 育むための 教育環境の 充実に向けて	1 時代の変化 に対応した学習 環境等の整備	① 小中一貫教育の推進	B	A				
		② 学校の教育環境の整備	A	A				
		③ 学校給食環境の整備	B	A				
		④ 情報教育環境の整備	B	A				
		⑤ 学校施設の適正規模・適正配置と維持管理	B	B				
	2 学校経営改 革の推進	① 学校組織の活性化	A	A				
		② 学校における働き方改革の推進	A	A				
	3 学校を核と した地域づくり の推進	① 地域と学校の連携・協働の仕組みづくり	A	B				
		② 安全・安心な教育環境の推進	A	A				
	4 家庭におけ る教育力の向上	① 家庭教育に関する学びの機会の充実	A	A				
	4 「学び」を 身近に感 じ「学び」 を実践で きる社会 の実現に 向けて	1 多様な学び をつなぐ生涯学 習の振興	① 生涯学習推進体制の充実	A	A			
			② 生涯学習情報を提供する体制の整備	A	A			
③ 学びを通じた地域コミュニティづくり			A	A				
2 誰もが学習 に参加できる機 会の充実		① 誰でも学べる機会の充実	A	A				
		② ライフステージに応じた学びの機会の充実	A	A				
3 「学び」が実 践できる地域の 学習資源の活用		① 公民館機能の充実	A	A				
		② 図書館機能の充実	A	A				
		③ 文化財の保存と活用の充実	A	A				
		④ その他地域の学習資源の充実	B	B				

・「各年度の主要施策及び進捗状況」欄で塗りつぶしされているのが当該年度で主要施策となったもの

3 令和2年度 西東京市教育計画（平成31（2019）年度～2023年度）の進捗状況

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況 及び今後の方向性	所管課
1 子どもの「生きる力」の育成に向けて	1 社会の変化に応える確かな学力の育成	① きめ細かな学習指導による基礎・基本の習得と活用	A	<p>学校訪問等を通じて、教員の授業力向上に向けた指導・助言を行った。外国語教育の充実について、ALTによる積極的な指導を行うとともに、市立小学校での英語専科教員による授業も行われている。</p> <p>市立小学校において、学習生活支援員による学習指導や給食指導、学級経営の補助の支援を行い、小学校生活への適応を図ることができた。</p>	教育指導課
		② 学ぶ意欲の向上に向けた教育の充実・推進	A	<p>校内研究や学校訪問等で主体的・対話的で深い学びを実現に向けた授業改善がされるよう指導・助言を行った。また、研究指定校、研究奨励校の研究成果を市立小・中学校へ周知した。キャリア教育については、特別活動を要とし、キャリア・パスポートを作成することで、児童・生徒が自己の変容や成長について考えられるようにした。また、習熟度や個に応じた少人数指導を実施した。</p>	教育指導課
		③ 教育の情報化による学習指導の質の向上	A	<p>市立小学校において、プログラミング的思考を育むため、各教科等で論理的思考力の育成を図った。また、学習用のロボット教材を活用した。</p> <p>セーフティ教室やデジタル教材を活用し、情報モラル教育を行った。</p>	教育指導課
		④ 持続可能な開発のための教育（ESD）の推進	A	<p>市立小学校のうち1校を、2年間研究を行う研究指定校とし、SDGsの研究に取り組んだ。各教科等の中で、児童が環境問題や貧困問題などを身近な課題として考えることができるような授業を展開した。また、各市立小・中学校がSDGsについてより実践を深めることができるよう、SDGsの導入DVDの作成を行い、周知した。</p>	教育指導課
	2 豊かな心を育む教育の実現	① 人権教育の推進	A	<p>人権教育推進委員会における協議、研修を行い、人権教育推進上の留意点や人権感覚・人権意識醸成のポイント等につ</p>	教育指導課

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
				<p>いて理解を深め、人権教育担当の資質向上を図った。また、「西東京あったか先生」を理念に掲げて、本市の人権教育の推進を図った。人権教育推進委員会の研修については、令和2年度は新型コロナウイルス感染症に関する差別解消を取り上げ、時代に合った人権課題に関わる研修を行った。</p>	
		② いじめや暴力行為の防止に向けた教育の推進	A	<p>いじめ防止対策の充実を図るため、西東京市いじめ問題対策連絡協議会及び西東京市教育委員会いじめ問題対策委員会を開催した。また、いじめ等の相談窓口として、児童・生徒に対して、教育指導課のスクールアドバイザーが行う電話相談をはじめ、児童・生徒が相談しやすい体制を整えた。</p> <p>さらに、いじめ問題に関する学校及び教員の対応力向上を図るために、職層、役割に応じた研修（生活指導主任対象、初任者対象）を実施した。</p> <p>生活指導上の諸課題については、生活指導主任会等において、市内の実態を踏まえた情報交換及び協議を行い、今後の各市立小・中学校の健全育成につながるようにしていった。</p>	教育指導課
		③ 道徳教育の充実	A	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、道徳教育推進教師連絡会は書面開催で情報交換を行った。また、学校は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校公開を行わない代わりに、道徳教育についてホームページで保護者や地域の方に積極的に発信した。</p>	教育指導課
		④ 読書活動の推進	A	<p>西東京市読書月間を設定し、各市立小・中学校が読書に関わる実践を重点的に行うことができるようにした。その中で、図書委員会によるブックトーク、紹介カードやポップ作り等、特色のある取組を実施することができた。今後も、司書教諭を中心に、学校図書館や学校司書を効果的</p>	教育指導課 図書館

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況 及び今後の方向性	所管課
				<p>に活用し、全市立小・中学校における読書活動の一層の推進を図っていく。(教育指導課)</p> <p>第4期西東京市子ども読書活動推進計画を策定した。</p> <p>団体貸出用すいせん図書パック「いいね!!西東京市おすすめ(セレクト)本」の更なる利用を促進した。</p> <p>今後も第4期西東京市子ども読書活動推進計画に基づき、引き続き児童・生徒の読書環境の更なる整備を行う。(図書館)</p>	
	3 子どもの健康づくりと体力づくりの推進	① たくましく生きるための健康と体力づくりの推進	A	<p>体育・保健教育の授業を通して、心身の健康の保持に関する指導を行うとともに、がん教育の授業を全市立小・中学校で実施した。</p> <p>また、オリンピック・パラリンピック教育の中で、オリンピック、パラリンピアンとの交流や各競技を体験したり、ラグビーの巡回指導を行ったりすることで、オリンピック・パラリンピックへの機運醸成を図った。</p>	教育指導課
		② 望ましい生活習慣や規律のある生活習慣の確立	A	<p>保健室だよりや掲示物等で、生活習慣病の情報や健康面への影響を周知し、正しい生活習慣の大切さを発信した。また、給食だよりやホームページ等で、給食の情報を積極的に周知し、食育への関心を醸成する取組を推進した。(学務課)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休業したことによって、児童・生徒の生活リズムを整える必要性を捉え、臨時休業明けにスタートアップ期間を設定することで、学校生活を緩やかに開始し、児童・生徒の生活習慣の立て直しに取り組んだ。(教育指導課)</p>	学務課 教育指導課
	4 一人ひとりを大切にする教育の推進	① 校内体制の充実	A	<p>各市立小・中学校において、教育支援システムを用いた個別の教育支援計画、個別指導計画の活用や、効果的な校内委員会の運営について、教育支援コーディネーター連絡会や特別支援教室専門員研修</p>	教育指導課

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況 及び今後の方向性	所管課
				会において協議した。また、教育支援アドバイザーを学校へ派遣し、助言を行った。	
		② 個に応じた教育実践の内容の充実	A	<p>小学1年生全員を対象にした「発音・話し方調べ」を行い、発音に不安を感じている児童の早期発見に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症拡大を受け、臨時休業中の家庭学習の支援のため、マルチメディアデジターを各家庭で使用できるように整備した。(教育指導課)</p> <p>マルチメディアデジターについては、市立小・中学校でどのように活用できるか教育指導課と協議した。</p> <p>利用促進のためマルチメディアデジターリストや機器取り扱いマニュアルを作成した。マルチメディアデジター図書の追加購入を進め、蔵書を増やした。(図書館)</p>	教育指導課 図書館
		③ 個に応じた教育実践を支える教育委員会の役割の充実	A	<p>ひばりが丘中学校特別支援学級の開設に向け、懇談会を設置し、通学区域の検討を行い決定した。また、令和4年度実施に向け、令和3年度に備品購入等の環境整備を行う。(学務課)</p> <p>各市立小・中学校に教育支援アドバイザーを定期的に派遣し、校内委員会で検討される児童・生徒のよりよい援助の在り方や個別の教育支援計画・個別指導計画について助言し、校内支援を充実させた。また、令和3年度の中学校特別支援教室の全面実施に向けて、教育支援推進委員会作業部会等で課題を整理し、開設準備を行った。(教育指導課)</p>	学務課 教育指導課
2 子どもの「心の健康」の育成に向けて	1 相談・支援の充実	① 教育相談センターにおける相談・支援の充実	A	<p>子どもたちの「心の健康」を育成するため、臨床心理士等の専門家による個別の相談・支援を行った。緊急事態宣言中の相談・支援の在り方や、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたカウンセリングや心理療法について情報収集し、協議を重ねた上で実施した。これまでの実</p>	教育支援課

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
				<p>績を踏まえ、今後の在り方を検討していく。</p>	
		<p>② 子どもの育つ環境を支援するネットワークの充実</p>	A	<p>就学支援シートを活用することで、就学前から義務教育期へ適切に連携していくことができ、一人ひとりの個に応じた支援の充実を図っていることを、幼稚園長会議、保育園長会議において周知し、協力を得ることができた。今後も更に切れ目のない支援を継続していく。(教育指導課)</p> <p>子どもの家庭状況に応じた適切な情報を保護者に提供するとともに、関係機関と連携を図り、必要な支援につなげた。適応指導教室やニコモールの利用者について、中学校在学中に福祉の生活サポート相談につなげるなど、卒業後の社会的自立に向けた支援の体制を整えた。今後もネットワークを活用し、切れ目のない支援の充実を図る。(教育支援課)</p>	<p>教育指導課 教育支援課</p>
	<p>2 学校における教育支援体制の充実</p>	<p>① 児童・生徒の「心の健康」の育成</p>	B	<p>市立小・中学校において、保健の授業等で「SOSの出し方に関する教育」を行ったことで、不安や悩みに対する対応方法について、児童・生徒の実生活に生かすことができるようにした。(教育指導課)</p> <p>児童・生徒等の「心の健康」について、養護教諭にアンケートを実施した上、詳細な聞き取りをして、課題等を確認した。引き続き、「心の健康」育成に向けた各校の校内体制の整備について、検討を進める。(教育支援課)</p>	<p>教育指導課 教育支援課</p>
	<p>② 学校と教育委員会との連携による支援の充実</p>	A	<p>スクールアドバイザーと学校の連携により、虐待やいじめを発見した段階で学校が報告書を提出することができているため、早期発見につながっている。(教育指導課)</p> <p>学校内では解決しにくい問題に対してスクールソーシャルワーカーを定期派遣するとともに、迅速な対応を図るため、学校の要請に応じて随時派遣も行った。教</p>	<p>教育指導課 教育支援課</p>	

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況 及び今後の方向性	所管課
				員と協議しながら問題の深刻化を防ぐことに努めた。スクールソーシャルワーカー調整会議で、各校の児童・生徒の状況把握や情報共有の体制の課題を整理した上、校長会議でスクールソーシャルワーカーの効果的な活用方法を提示した。今後、スクールソーシャルワーカーのコーディネートにより、関係機関との連携を強化していく。(教育支援課)	
		③ 不登校への対応	A	<p>教育支援コーディネーターと中1不登校未然防止委員の合同研修を行い、不登校に関わる内容について、学校が組織的に取り組むことができるようにした。(教育指導課)</p> <p>小・中連携シートを活用して情報交換を行い、中1不登校未然防止に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止の休業期間中、スクールソーシャルワーカーが学校を訪問して、不登校児童・生徒の状況確認、対応方針の協議、関係機関への連絡・調整を行い、小学校には卒業した中学1年生の状況の確認を依頼した。今後、長期化している不登校の児童・生徒に対し、それぞれの背景を見立てた上で、必要な支援を行っていく。(教育支援課)</p>	教育指導課 教育支援課
	3 学校を支える多様な教育資源の充実	① 個の教育的ニーズに応じた教育資源の充実	B	<p>母語が日本語でなく、学校生活に適應することが困難な児童・生徒に対して指導員を派遣し、初期の日本語指導を行った。(教育指導課)</p> <p>ニコモルーム・スキップ田無教室合同会議により、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、柔軟な支援を行うよう努めた。今後、全ての不登校児童・生徒を対象とし、一人ひとりの社会的自立に向けた成長及び保護者への支援を強化する体制を整備していく。(教育支援課)</p>	教育指導課 教育支援課
3 持続可能な社会の	1 時代の変化に対応した学習環	① 小中一貫教育の推進	A	令和元年10月に策定した「西東京市における小中一貫教育の取組について」の方針に基づいて、今後も小中一貫教育の	教育企画課 教育指導課

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
創り手を育むための教育環境の充実に向けて	境等の整備			<p>取組を進めていく。(教育企画課)</p> <p>西東京市の小中一貫教育については、新型コロナウイルス感染症の影響により、児童・生徒が直接交流する活動は中止とした。中学校区の市立小・中学校が連携を図り、児童が中学校生活をイメージできるような取組を考え、各学校の特色を生かした小中一貫教育を進めることができた。令和3年度は新しい生活様式にあわせた内容となるよう検討していく。(教育指導課)</p>	
		② 学校の教育環境の整備	A	<p>中原小学校においては、エレベーター、だれでもトイレ設置等のバリアフリー化を実施し、屋上緑化、太陽光発電、LED照明等の環境に配慮した学校施設を整備した。(教育企画課)</p> <p>学校選択制度については、児童・生徒数の推計値や施設状況等を分析した上で、適切な受入れ枠の設定を行った。</p> <p>通常学級介助員については、適切に配置するとともに、合理的配慮の考え方にに基づき、施設環境の整備を行った。(学務課)</p> <p>幼稚園・保育園・療育機関等での子どもたちの様子や、指導・保育又は訓練の様子、配慮してほしいことなどの就学支援シートに書かれた情報を、小学校入学後の指導や支援に生かし、保護者との連携を円滑に進めるのに役立てることができた。今後も移行支援を充実させていく。(教育指導課)</p> <p>幼稚園・保育園と小学校間の連携強化のため、保育園への心理アドバイザー派遣などを行った。また、要保護児童対策地域協議会の発達支援部会において、関係部署間で情報交換を行い、支援の移行が円滑に行われるよう努めた。今後、情報共有の仕組みを整備し、移行支援を充実させていく。(教育支援課)</p>	<p>教育企画課</p> <p>学務課</p> <p>教育指導課</p> <p>教育支援課</p>

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
		③ 学校給食環境の整備	A	<p>令和2年12月には、地場産農産物生産者と栄養士の意見交換会を開催し、生産物の説明や学校における取組などを共有し、更なる地場産物の活用につながるよう取り組んだ。</p> <p>中原小学校においては、令和3年1月よりドライシステムの給食室で調理した給食を児童に提供している。</p>	学務課
		④ 情報教育環境の整備	A	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、ICT環境の整備において状況が一変したが、国が示したGIGAスクール構想の理念に従い、西東京市GIGAスクール構想基本方針を定めた。その方針に従って児童・生徒及び教員用に一人1台のタブレット端末、各校に高速大容量の通信ネットワークの整備を行った。今後もICT環境の整備に努める。</p>	教育指導課
		⑤ 学校施設の適正規模・適正配置と維持管理	B	<p>西東京市学校施設適正規模・適正配置に関する基本方針を策定した。また、その方針に基づき、学校施設個別施設計画の中間のまとめを策定した。令和3年度では、西東京市公共施設等総合管理計画と整合性を図りながら、学校施設個別施設計画の策定を行う。</p>	教育企画課
	2 学校経営改革の推進	① 学校組織の活性化	A	<p>臨時休業に伴い夏期休業期間が短縮となったことや、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、学校訪問監査を中止とした。代替措置として、全校に事務執行に関する注意点を周知し、適正な事務執行の徹底を図った。今後は適宜必要な視点を取り入れ、おおむね4年間で全市立小・中学校での監査を実施していく。 (教育企画課)</p> <p>学校訪問や管理職からの聞き取りを継続的に行い、学校の実態に応じた指導・助言を行っていく。(教育指導課)</p>	教育企画課 教育指導課
		② 学校における働き方改革の推進	A	<p>給食費の公会計化については、多摩26市において、令和2年度時点で、給食費を公会計化している自治体を把握した。</p>	学務課 教育指導課

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
				<p>今後は、既に導入している自治体の状況調査を行うとともに、引き続き課題解決に向けた検討を進め、本市における導入に伴うスケジュール等の調整を実施する。(学務課)</p> <p>教員が児童・生徒への指導や授業準備等に一層注力できるようにするために、教員に代わって教材の印刷や採点・データ入力等を行うスクール・サポート・スタッフを全校に配置した。また、副校長の業務軽減のために、事務的な作業を支援する副校長業務支援員を24校に配置した。</p> <p>中学校の部活動においては、顧問教員に代わって専門的な技術指導や休日の大会引率等を行うことができる部活動指導員を全市立中学校に配置した。</p> <p>さらにタイムレコーダーの設置による教員の在校時間の把握や、定期健康診断時にストレスチェックを実施し、教員のメンタルケアも含めて支援した。</p> <p>今後も学校における働き方改革の推進に努めていく。(教育指導課)</p>	
	3 学校を核とした地域づくりの推進	① 地域と学校の連携・協働の仕組みづくり	B	<p>早稲田大学とは「理科・算数だいすき実験教室」という連携事業を実施し、東京大学、武蔵野大学とも連携を深めてきた。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、早稲田大学との協議の結果、「理科・算数だいすき実験教室」を中止とした。今後はオンラインでの実施などを検討しつつ、市内大学との連携事業を継続して実施していく。</p> <p>コミュニティ・スクールについて、令和2年度は制度導入の検討を行い、令和3年度からのモデル校での実施に向けて準備を行った。今後、全校での実施に向けて、学校及び関係部署と連携し、取組を進めていく。(教育企画課)</p> <p>子どもたちの見守り活動については、地域の活動団体に協力を依頼し、登下校</p>	教育企画課 学務課 教育指導課 社会教育課 公民館 図書館

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
				<p>の安全確保に努めた。(学務課)</p> <p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により学校行事参加等の予定されていた直接的交流ができなかったが、学校・学年だより交換等の間接的交流は継続して行っており、希望する児童・生徒の交流を進めることができた。(教育指導課)</p> <p>令和2年度は、市立小学校16校において地域住民の参画を得て、学校施設を活用した放課後子供教室を実施し、校庭開放や学習支援などの取組を行った。(社会教育課)</p> <p>地域の避難所運営協議会や関係機関と連携して、全館で地域防災講座を実施した。(公民館)</p> <p>放課後子供教室の準備について見学等を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため未実施に終わった。(図書館)</p>	
		② 安全・安心な教育環境の推進	A	<p>児童の登下校時における安全を確保するため、見守り活動に必要な用品等の購入費を学校に配当し、見守り活動の充実を図った。今後も継続して実施する。(教育企画課)</p> <p>関係機関・保護者・地域等と連携協力のもと、交通安全や防犯、防災の視点での通学路の安全点検を実施し、改善に向けた検討や調整を行い、その結果を学校へ情報提供した。</p> <p>中学校区に1台ずつ防犯カメラを設置し、周知した。(学務課)</p> <p>東京都教育委員会の安全教育プログラムを基に、安全教育を学校の教育活動全体で取り組んだ。小学校では地域安全マップを作成し、子どもが自ら危険を回避できるようにした。(教育指導課)</p>	教育企画課 学務課 教育指導課
	4 家庭における教育	① 家庭教育に関する学びの機会の充実	A	各学校の放課後子供教室で、保護者会など多くの保護者が集まる機会を活用し	社会教育課 公民館

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
	力の向上			<p>た学習機会の提供を行った。(社会教育課)</p> <p>柳沢公民館とひばりが丘公民館では、思春期の子どもとの向き合い方と子どもの自立について学ぶ講座を実施した。芝久保公民館では「地域で創る教育ネットワーク講座」を実施し、家庭教育に関する支援や情報共有を図る機会を提供した。</p> <p>(公民館)</p> <p>絵本と子育て事業について、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により健康診査会場での実施ができなかった。0歳児については、図書館窓口及び郵送にて絵本の配布を実施できたが、3歳児については実施できなかった。(図書館)</p>	図書館
4 「学び」を身近に感じ「学び」を实践できる社会の実現に向けて	1 多様な学びをつなぐ生涯学習の振興	① 生涯学習推進体制の充実	A	<p>社会教育施設である公民館及び図書館を中心に、「生涯学習推進指針」の基本理念、方向性に基づき、専門性を生かした施策事業の展開を行った。(社会教育課)</p> <p>事業の実施に当たっては、準備会や実行委員会形式を多く取り入れ、参加者とともに生涯学習の充実に向けた取組を行っている。(公民館)</p>	社会教育課 公民館
		② 生涯学習情報を提供する体制の整備	A	<p>市民の生涯学習を支援するため、ホームページなどにより、知識や技術等を持つ人の情報を提供した。(社会教育課)</p> <p>主催事業だけでなく、市民団体が主催する事業のチラシの掲示や関係機関の情報提供などを積極的に行った。(公民館)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館以降、Web を生かした情報として、「電子書籍が読めるページ」「新型コロナウイルス関連情報」「図書館員の本棚」をWeb ギャラリーに追加して紹介した。</p> <p>やさしい日本語による図書館案内のページを作成し、情報提供の充実を図った。(図書館)</p>	社会教育課 公民館 図書館

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況 及び今後の方向性	所管課
		③ 学びを通じた地域コミュニティづくり	A	平成30年度から5か年計画で、「学び」を通じた人づくり・地域づくりを目的に、「地域づくり未来大学」を実施した。	公民館
	2 誰もが学習に参加できる機会の充実	① 誰でも学べる機会の充実	A	障害のある人もない人もともに楽しめる事業や、外国人が参加し、交流できる事業など、困難を抱える人の学習支援につながる事業を実施した。(公民館) 日本語学習コーナーを設置した。多言語おはなし会を合計11回開催し、多文化理解のための講座の実施や企画展示を行った。(図書館)	公民館 図書館
		② ライフステージに応じた学びの機会の充実	A	子育て世代への学習機会の提供を行うため、保育付きの主催講座を5館で実施した。また、公民館で活動するサークル団体を講師に迎え、親子で楽しめる講座などを実施し、多世代が地域の中で知り合う機会を提供した。(公民館) 大活字本の購入を進めた。宅配サービスについては、新規利用者及び協力員拡大のためPR強化を図った。また宅配協力員と協働でサービスの充実に努めた。(図書館)	公民館 図書館
	3 「学び」が実践できる地域の学習資源の活用	① 公民館機能の充実	A	団体連絡箱の設置、印刷機の利用、専門員による相談受付等、市民が地域で学習をするための支援を積極的に実施している。	公民館
		② 図書館機能の充実	A	学校司書連絡会に公立図書館職員も出席し連携を図っている。(教育指導課) 新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館以降、新しい生活様式に即したサービスとして、司書がテーマに沿ったお薦めの図書を「本束(一般書)」「絵本のお楽しみ袋(児童書)」として提供した。(図書館)	教育指導課 図書館
		③ 文化財の保存と活用の充実	A	下野谷遺跡への見学や社会教育課の出前授業を通して、学校教育の中で文化財の活用を行い、総合的な学習の時間等の中で地域の文化財への理解を深めることができるようにした。(教育指導課)	教育指導課 社会教育課 公民館 図書館

基本方針	方向	施策	進捗状況	取組状況及び今後の方向性	所管課
				<p>市立小・中学校への出前授業や、郷土資料室への団体見学の受入れなどを通し、学習資源として文化財の活用を図った。</p> <p>小学校の総合学習の成果を、郷土資料室で企画展示することで、遺跡の価値を市内外へ広めることにもつながった。(社会教育課)</p> <p>社会教育課と共催の「下野谷遺跡に学ぶ」講座や公民館だよりを通じて、市民に対して郷土の歴史を学習する機会を広く提供した。(公民館)</p> <p>西東京市デジタルアーカイブにおいて公開している、市文化財のデジタルデータを活用した事業の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。(図書館)</p>	
		④ その他地域の学習資源の充実	B	<p>地域の学習活動拠点の一つとして、学校施設開放運営協議会に委託し、放課後子供教室【校庭開放・学習機会の提供】や地域生涯学習事業を実施した。(社会教育課)</p> <p>前年度から活用を始めた西東京市デジタルアーカイブにおいて、地域・行政資料の電子化と追加の公開を実施した。今後も地域の学習資源としてデジタル資料の充実を進めていく。(図書館)</p>	社会教育課 図書館

西東京市教育計画（平成 31（2019）年度～2023 年度）に掲げる
施策の進捗状況
（令和元年度～令和 2 年度分）
令和 3 年 8 月

西東京市教育委員会教育部教育企画課
〒188-8666
東京都西東京市南町五丁目 6 番 13 号
Tel : 042-420-2822
Fax : 042-420-2891